

第5章 参 考

第5章 参 考

1 施設見学者数

施設名 年度	富士見環境センター (リサイクルプラザ)		新座環境センター	
	団体数	見学者数 (人)	団体数	見学者数 (人)
30	35 団体 (うち、小学校見学 19)	1,899	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0
元	25 団体 (うち、小学校見学 17)	1,563	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0
2	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0
3	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0
4	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0	0 団体 (うち、小学校見学 0)	0

※令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見学団体の受入れはなし。

2 志木地区衛生組合規約

志木地区衛生組合規約

〔昭和 39 年 6 月 1 日〕
〔埼玉県指令 39 地第 3620 号〕

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この組合は、志木地区衛生組合（以下「組合」という。）という。

(組織)

第 2 条 この組合は、志木市、新座市及び富士見市（以下「組合市」という。）をもって組織する。

(目的)

第 3 条 この組合は、ごみ等に関する事業を共同処理することを目的とする。

(事務所の位置)

第 4 条 この組合の事務所は、埼玉県富士見市大字勝瀬 480 番地に置く。

第 2 章 組合の議員

(議員の定数及び選挙の方法)

第 5 条 組合の議会の議員（以下「組合の議員」という。）の定数は 18 人とし、その選出区分は、次のとおりとする。

志木市 6 人

新座市 6 人

富士見市 6 人

2 前項の組合の議員は、組合市の議会においてその議会の議員のうちからそれぞれ 5 人ずつ選挙し、他の 1 人は、組合市の議会の議長（以下「組合市の議長」という。）の職にある者をもって充てる。

(任期及び失職)

第 6 条 組合の議員の任期は、組合市の議員の任期とする。

2 補欠議員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 組合の議員が組合市の議長である者にあつては当該議長、組合市の議員である者にあつては当該議員でなくなつたときは、同時にその職を失う。

(補欠選挙)

第 7 条 組合の議員が欠けたときは、直ちに補欠選挙を行わなければならない。

第 3 章 執行機関

(設置及び選任の方法)

第 8 条 組合に管理者 1 人及び副管理者 3 人を置く。

2 管理者及び副管理者は、第 3 項に規定する常任の副管理者を除き、組合市の長の協議により、組合市の長のうちから、これを定める。

3 第 1 項の副管理者のうち、1 人を常任の副管理者とし、管理者が組合の事務について知識又は経験を有する者のうちから、組合の議会の同意を得て、これを選任する。

(任期)

第 9 条 管理者及び副管理者の任期は、組合市の長の職にある期間とし、前条第 3 項に規定する常任の副管理者の任期は 4 年とする。

(職務権限)

第 10 条 管理者は、組合を統轄し及び代表し並びに組合の事務を管理し及び執行する。

2 副管理者は、管理者を補佐し、管理者に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(職員)

第 11 条 組合に会計管理者その他の職員を置き、管理者がこれを任免する。

2 職員の定数は、組合の条例でこれを定める。

(監査委員)

第 12 条 組合に監査委員 2 人を置く。

2 監査委員は、管理者が組合の議会の同意を得て、組合の議員及び識見を有する者のうちから、それぞれ 1 人を選任する。

3 監査委員の任期は、組合の議員の中から選任されたものにあつては、その議員の任期によるものとし、識見を有する者の中から選任されたものにあつては 4 年とする。

第 4 章 経費

(経費)

第 13 条 組合の経費は、組合の事業（財産）より生ずる収入及びその他の収入をもって充て、組合の事務の管理及び執行に要する費用は、組合市が負担する。

2 前項の規定により組合市の負担する割合は、均等割 20 パーセント、搬入量割 80 パーセントとする。

第 5 章 補則

(地方自治法の準用)

第 14 条 この規約に規定すべき事項で、この規約に定めないものについては、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）中、市に関する規定を準用する。

附 則

この規約は、告示の日から施行する。

附 則（昭和 44 年埼玉県指令地第 1150 号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和 46 年埼玉県指令地第 2179 号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和 47 年埼玉県指令地第 994 号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和 49 年埼玉県指令地第 72 号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和 52 年埼玉県指令地第 1363 号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和 55 年埼玉県指令地第 1158 号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和60年埼玉県指令地第1737号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和61年埼玉県指令地第1061号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（昭和63年埼玉県指令地第2168号）

この規約は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成4年埼玉県指令地第978号）

この規約は、許可のあった日から施行する。

附 則（平成7年志衛組発第34号）

この規約は、平成7年4月1日から施行し、この規約による変更後の第13条第2項の規定は、平成7年度の負担割合から適用する。

附 則（平成20年埼玉県指令市第1667号）

この規約は、平成21年1月1日から施行する。

3 放射性物質等の測定結果

(1) 主灰(焼却灰)の放射性物質濃度測定結果

単位: Bq/kg

試料採取日	施設名	測定項目			
		放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム Cs-134	放射性セシウム Cs-137	放射性セシウム 合計
令和4年7月20日	富士見環境センター	不検出	不検出	不検出	不検出
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	不検出	不検出
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	21	21

※主灰とは燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰です。

(2) 飛灰(集じん灰)の放射性物質濃度測定結果

単位: Bq/kg

試料採取日	施設名	測定項目			
		放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム Cs-134	放射性セシウム Cs-137	放射性セシウム 合計
令和4年4月20日	富士見環境センター	不検出	不検出	48	48
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	22	22
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	44	44
令和4年5月18日	富士見環境センター	不検出	不検出	52	52
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	19	19
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	40	40
令和4年6月15日	富士見環境センター	不検出	不検出	46	46
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	35	35
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	33	33
令和4年7月20日	富士見環境センター	不検出	不検出	36	36
	新座環境センター東工場	23	不検出	19	19
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	33	33
令和4年8月17日	富士見環境センター	不検出	不検出	38	38
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	20	20
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	30	30
令和4年9月21日	富士見環境センター	不検出	不検出	29	29
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	不検出	不検出
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	40	40
令和4年10月19日	富士見環境センター	不検出	不検出	16	16
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	19	19
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	26	26
令和4年11月16日	富士見環境センター	不検出	不検出	11	11
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	17	17
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	33	33
令和4年12月21日	富士見環境センター	不検出	不検出	30	30
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	17	17
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	24	24
令和5年1月18日	富士見環境センター	不検出	不検出	23	23
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	22	22
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	14	14
令和5年2月15日	富士見環境センター	不検出	不検出	19	19
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	18	18
	新座環境センター西工場	21	不検出	12	12
令和5年3月15日	富士見環境センター	不検出	不検出	37	37
	新座環境センター東工場	不検出	不検出	14	14
	新座環境センター西工場	不検出	不検出	23	23

※飛灰とはろ過式集じん機などで捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)の事です。

(3)敷地境界における空間放射線量測定結果

単位：マイクロシーベルト／時間

測定日	測定場所	測定時間	測定値		
			地表付近	地上50cm	地上100cm
令和4年4月13日	富士見環境センター正門	10:35	0.063	0.060	0.054
	富士見環境センター西門	10:45	0.069	0.064	0.061
	富士見環境センター利彩館門	11:00	0.048	0.048	0.041
	新座環境センター正門	9:00	0.062	0.059	0.057
	新座環境センターグラウンド側	9:12	0.044	0.048	0.038
令和4年5月11日	富士見環境センター正門	13:07	0.058	0.057	0.056
	富士見環境センター西門	13:18	0.063	0.058	0.052
	富士見環境センター利彩館門	13:28	0.047	0.050	0.049
	新座環境センター正門	9:32	0.061	0.053	0.054
	新座環境センターグラウンド側	9:44	0.039	0.038	0.037
令和4年6月3日	富士見環境センター正門	10:40	0.067	0.060	0.048
	富士見環境センター西門	10:54	0.062	0.062	0.056
	富士見環境センター利彩館門	11:03	0.051	0.043	0.046
	新座環境センター正門	9:13	0.063	0.060	0.055
	新座環境センターグラウンド側	9:25	0.041	0.039	0.040
令和4年7月5日	富士見環境センター正門	13:24	0.063	0.057	0.043
	富士見環境センター西門	13:37	0.061	0.062	0.054
	富士見環境センター利彩館門	13:47	0.054	0.047	0.046
	新座環境センター正門	9:15	0.054	0.052	0.046
	新座環境センターグラウンド側	9:25	0.037	0.042	0.040

上記測定日までに測定していた数値により、平成24年1月1日に施行された放射性物質汚染対処特別措置法における調査義務の免除規定に該当し、環境省の確認を受けましたので、調査義務は免除となりました。よって敷地境界における空間放射線量の測定を令和4年7月で終了としました。